

デジタル市場における競争政策に関する研究会 報告書
「アルゴリズム/AIと競争政策」について

令和3年3月31日
公正取引委員会

近年の急速な技術の進展により変化の激しいデジタル市場においては、公正かつ自由な競争を確保し、事業者の創意工夫を促すため、デジタル市場の取引実態や競争環境に即して、競争政策を有効かつ適切に推進していくことが重要となっています。

アルゴリズムやAI（人工知能）は、デジタル市場におけるイノベーションのプロセスの鍵となる技術であり、多くの事業者がアルゴリズムやAIを利用して事業活動を行っています。そのため、デジタル市場における競争政策の推進のためには、アルゴリズムやAIがもたらす事業活動や競争環境の変容を理解することが重要です。

また、アルゴリズムやAIは、事業活動を効率化させ、消費者の利便性を向上させるなど社会に大きな便益をもたらす一方で、アルゴリズムやAIを利用した反競争的行為について海外当局が措置を講じた事例が出てきているなど、我が国においても、アルゴリズム/AIと競争政策を巡る課題・論点について検討する必要性が高まっています。

公正取引委員会は、このような認識の下、デジタル市場における独占禁止法・競争政策上の諸論点や課題について研究を行うことを目的として、経済取引局長主催の「デジタル市場における競争政策に関する研究会」（座長：柳川範之 東京大学大学院経済学研究科教授）を開催し、アルゴリズム/AIと競争政策について、令和2年7月から8回にわたって検討を行ってきました。

このたび、同研究会の報告書「アルゴリズム/AIと競争政策」が取りまとめられましたので、公表いたします。

問い合わせ先	公正取引委員会事務総局経済取引局総務課 デジタル市場企画調査室 電話 03-3581-5773（直通）
ホームページ	https://www.jftc.go.jp/